

## 目標に向かって真っすぐに進め

2月10日（木）、鶴田中学校（稲場締男校長）で、2年生140人（男78人、女62人）が、元服に由来した成人の儀式である立志式に臨みました。

式辞の中で稲場校長は、「夢を実現するには、幼い心を捨て、負けない気持ちを持ち、目標に向かって真っすぐ進み、勉学に励み努力し、よき友人を持つことです。」と生徒に言葉を贈ると、生徒代表の澁谷光年君は「毎日の生活をきちんとすることが大人への近道です。わたしたちは、今日から気持ちを切り替え目標に向かって頑張ります。」と誓いの言葉を述べました。



誓いの言葉を述べた澁谷光年君

この日、生徒たちは来賓や保護者に見守られる中、それぞれに志を立て、将来の目標へ向かって真っすぐに進むことを誓いました。



2年全員が将来の夢に向かって進むことを誓いました



2/6 高齢者の一人暮らし世帯などに見守り活動に町民700人が参加

1/26 4年ぶりに社会福祉協議会「除雪ボランティア」が出動

1/12 鶴田小チームが「学校給食献立コンクール」で優秀賞を受賞



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線263）

## 園児が百人一首に奮闘

1月11日（火）、鶴田町立ききょう児童館（竹浪美由樹館長）で「新春お楽しみ会」と称して、お茶会とかるた大会（百人一首）が行われました。

かるた大会では、園児全員が和服にたすき掛けで臨み、詠み手に竹内友理香さん（木造高校かるた部3年）を招いての本格的な百人一首大会が行われました。

中には百首全部覚えたという園児もいて、対戦では、詠み手が上の句を詠むと同時に「ハイ」と札を取る姿に、会場の大人たちは終始感心させられていました。



- ・並べる時から暗記が始まる（左上）
- ・見つめる目は真剣そのもの（左下）
- ・「ハイ」と札を取る園児（右）



## 生産者200人が剪定技術を学ぶ

1月4日（火）、鶴田地区りんご支会連絡協議会、町、つがるにしきた農協鶴翔地区りんご共同防除組合の共催で「新春剪定会」が宮本良一さん所有のりんご園地（鶴田字早瀬）で開催され、生産者の皆さん約200人が剪定技術を学びました。

はじめに鶴田地区りんご支会連絡協議会の浅利豪会長から「昨年は夏の高温で品質が心配されましたが、品質・収量ともにまずまずの出来でありました。今年もしっかり学び品質の良いりんごが収穫できるよう頑張りましょう」とあいさつの後、県りんご協会特別講師の工藤覚（くどうさとる）さんによる剪定の技術指導が行われました。参加した生産者の方々は、食い入るように講師の剪定する枝を見つめ、切る枝、残す枝のポイントなどを講師に質問して技術を習得していました。



・剪定する枝を前に講師の説明に耳を傾ける生産者の皆さん

## 新年に願う・さまざまな思い

年末年始にかけて町内の各地域でさまざまな催しが行われました。その様子を写真でお伝えします。



①五穀豊穡と家内安全を願って奉納された山道弥生画保存会の弥生画「かぐや姫」（12/30） ②東北新幹線全線開業を祝い、福も一緒に訪れることを願って奉納された元町弥生会の弥生画「はやぶさ元年」（12/31） ③五穀豊穡を願い行われた横濱裸詣りには地区の児童も参加 ④⑤町の飛躍を願い、新春の大空に鶴が舞い上がった「新春鶴揚げ大会」（1/2） ⑥五穀豊穡を願い、威勢のいい若者たちが「サイギ サイギ」の掛け声とともに地区を練り歩く「中野裸祭り」（1/1） ⑦⑧今年の火災ゼロを祈願して、消防団員300人による「出初め式」